

学校名 寝屋川市立第六中学校
学年 三年 一組

氏名 馬場 葵

題名 コロナ禍の救世主

二〇二〇年、新型コロナウイルスが世界中に蔓延し、多くの人が亡くなり、様々な事が制限されるようになりました。

さらに感染が拡大し緊急事態宣言が発令されたことにより、ついに私の通う学校が休校となりました。ですが、当時の私は危機感がほとんどなく、自分でも不謹慎なことにおしる。この様な生活がもつと続いてほしいとさえ思っていました。

全国納税貯蓄組合連合会・国税庁

しかし、想像を遙かに上回る感染者数、死者数や、私の両親が勤める会社から感染者が出たことにより、いよいよ他人事とは思えない状況になってしまいました。

そんな中、私はふと思いました。「もし自分がコロナになったらどうしよう。」考えただけで恐しくなり、これからの先行きがとても不安になりました。それから数日後、新型コ

ロナウイルスのワクチン接種が始まり、高齢者や医療従事者の方々が以前より安心して生

中学生の「税についての作文」原稿用紙

活ができるようになってきました。連日の報道でワ
 クチン接種について興味を持ちだしたとき、
 これに使われるお金はどこから出ているんだ
 ろう、という疑問が浮かびました。よく調べ
 てみると、なんとそこに使われているのは私
 たちが普段払っている「税金」なのです。
 さらに、新型コロナウイルスは「指定感染
 症」であるため、入院時に従来よりも迅速な
 対応が可能となります。また、入院した際の
 医療費は税金で負担されます。PCR検査に

全国納税貯蓄組合連合会・国税庁

おいても費用は税金によって賄われるため、
 自己負担がありません。つまり私が不安にな
 っていたことが税金によって解決するというの
 です。私は元々消費税や所得税などの税は知
 っていました。税金がこのような使われ方
 をしているのをこの時初めて知りました。

私が納めている税は消費税くらいだったの
 で、どうしてこんなものを払わなければなら
 ないのか、と税に対するイメージはあまり良
 くなかったのですが、自分たちの納めている

税金が本当に困っている人達のもとにきちんと届いていることがわかり、改めて納税がいかに大切なことか身を持って感じました。

税金を納めることは、私たちの生活を支える上で必要不可欠なことです。また、新型コロナウイルスの感染をいち早く終息へ向かわせるために納税は欠かせないものとなります。私は、病気に怯えることなくまた安心して過ごせる世の中にするために、これからは納税の意味をしっかり意識し、納めていきたいと思

全国納税貯蓄組合連合会・国税庁

思いました。

私たちが税金を納めることにより、多くの困っている人々に税による救いが届き、少しでも早く新型コロナウイルスの感染が終息することを願っています。